

市展・京展の80年

平成29年3月7日(火)―3月23日(木)

2016京展 美術館リ・ボーンに向けて『市展・京展80年記念展』併設企画

■主催 = 京都市

■休館日 = 月曜日 (ただし、祝日は開館)

■開館時間 = 午前9時―午後5時 (ただし入場は午後4時30分まで)

「市展」は、戦前に全国に先駆けて京都市が主催した総合公募展です。1945(昭和20)年には「京展」と改称して再発足し、昨年2015(平成27)年に80年目を迎えました。「2016京展」はこれを記念して、「市展・京展80年記念展」と銘打っております。さらに本展は、京都市美術館再整備工事前の最後の「京展」でもあり、この節目をもって、「2016京展」会場内において、市展・京展の80年をふりかえる小展示を実施いたします。

「京都市美術展覧会」の略称として親しまれてきた「市展」は、1935(昭和10)年に第1回展が開催されました。以来、1944(昭和19)年まで9回にわたって開かれました。戦後は「京展」として再発足し、一時駐留軍による建物接収で中断されたものの、1953(昭和28)年の

「第5回京展」以後は途切れることなく現在まで毎年開催されてきました。

市展・京展は、当初から「新進青年作家の登龍門」として位置づけられてきました。その一方で大家や中堅作家の出品も広くつり、美術の祭典として美術館の春を彩ってきました。「市展」を生むきっかけは、1934(昭和9)年に開催された当館の開館記念展「大礼記念京都美術館展」が、空前の大成功をおさめたことにありました。同展がジャンルをまたがる総合美術展であっただけでなく、帝展、院展、二科会、春陽会、日本南画院、国画会、独立美術協会など当時の美術団体を網羅した展覧会として注目を集めたことから、「市展」とそれに続く「京展」も、各美術団体の垣根を越えた展覧会であることを特色として、京都の美術界において大きな役割を担ってきました。また現在では団体に属さず活動する作家の発表の場としても意義を高めています。

1998(平成10)年に第50回を迎えたのを契機に、1999年以降は、全出品作を一般公募することで機構改革をはかり、未来を担う若手作家を発掘し、その活躍の場を提供する役割は

強められています。

本展示では、過去の市展・京展の受賞作や買い上げ作品を中心に、市展・京展の80年の歴史をふりかえります。



北脇 昇 《章表》 第2回市展(1937)



小合友之助 《染額雙馬図》 第1回市展(1935)



池田遙邨 《雨の大阪》 第1回市展(1935)

市展・京展関連年表

1933(昭和8年)	大礼記念京都美術館(現・京都市美術館)開館(11月)
1935(昭和10年)	日本画、洋画(油画、版画、水彩画、パステル画)、彫塑、美術工芸の四部門をもって第1回京都市展(京都市美術展覧会の略)をひらく(5月)。
1936(昭和11年)	帝展改組による春秋2回にわたっての官展開催のため休会。
1940(昭和15年)	第5回展では、日本画部門は、日本画大展覧会(大阪毎日新聞社主催)として開催(4-5月)。国内の大家132名を招待して出品を要請する(5月)。
1944(昭和19年)	第9回展を平安神宮御鎮座50年・平安遷都1150年奉祝展としてひらく(7月)。
1945(昭和20年)	時代の一新に伴い、出品資格を京都市在住者以外にも広げ、名称を「京展」(京都市主催美術展覧会の略)と改め、第1回展をひらく(11月)。市長賞第一席、第二席のほかに、毎日新聞社賞、朝日新聞社賞、京都新聞社賞、大阪新聞社賞、中部日本新聞社賞など報道各社の賞を新たに設置する。
1946(昭和21年)	駐留軍によって本館を接収される(3月)。第2回展を市立美術専門学校(日、彫)と恩賜京都博物館(洋、工)にわけて陳列開催(5月)。市長賞に加えて佳作を設ける。
1947(昭和22年)	第3回展を丸物百貨店で開催(6月)。市長賞に代わり京展賞を設置。
1948(昭和23年)	第4回展を恩賜京都博物館で開催(5月)。
1949(昭和24年)	会場確保が困難なため、1952年まで中断。
1952(昭和27年)	本館接収解除(5月)。改修工事にかかる。
1953(昭和28年)	第5回京展を開催(4月)。この年から書部門を設置。市長賞を設置し、さらに日本画部門に奨励賞として、紅賞、緑賞を設ける。また工芸に商工会議所会頭賞を設置。
1954(昭和29年)	日本画に紅賞、洋画に紫賞、書に緑賞を設置する。日、洋、彫、工に京都美術懇話会賞を設置。
1956(昭和31年)	商工会議所会頭賞が他の部門にも設けられる。書に日本書道連盟賞、京都書道連盟賞を設置。
1958(昭和33年)	第10回記念京展をひらく(各部門に京都市買上と記念賞、美術振興会賞を設ける)。
1962(昭和37年)	一般応募者を対象とする市長賞に対して、出品委嘱者対象の京展賞を設置する。洋画家・須田国太郎氏遺族から送られた基金をもとに須田賞を設ける(全出品者対象)。
1963(昭和38年)	第15回京展。この年から版画を一括して陳列し、洋画部門の中に版画部門が設けられる。
1970(昭和45年)	万博記念第22回京展として開催し、各部に万博記念賞を設ける。
1973(昭和48年)	版画に京展賞を設ける。
1974(昭和49年)	版画を洋画部門から独立させ、全6部門となる。
1975(昭和50年)	工芸部門にあかね賞を設置する。彫刻と版画部門に紫賞を設置する。
1978(昭和53年)	第30回京展を記念して各部門に第30回京展記念市長大賞を設ける。
1981(昭和56年)	書に中野賞を設ける。
1985(昭和60年)	日本画に栖鳳賞を設ける。
1986(昭和61年)	工芸に楠部賞、書に日比野賞を設ける。須田賞はこの年から洋画、彫刻、版画部門への賞となる。
1988(昭和63年)	一部報道関係に鑑査を公開する。40回京展を記念して各部に40回京展記念賞を設ける。京都美術懇話会賞に代わり京都市芸術文化協会賞を設置する。
1994(平成6年)	彫刻に松田賞を設ける。須田賞は洋画・版画部門のみが対象となる。
1998(平成10年)	京展が50回を迎える。
1999(平成11年)	出品依頼制度を廃止し、審査委員に美術評論家を加え、京都市美術館賞(コレクション賞)を新設するなど京展活性化のための改革を行い、1999京展として新生をはかる。
2006(平成18年)	新人育成のため、館長奨励賞を設ける。
2008(平成20年)	洋画の具象的表現に対して10年限定の芝田記念賞を設ける。
2013(平成25年)	京都市美術館開館80周年記念展2013京展として開催し、京都市美術館賞80周年記念特別賞(コレクション賞)を設ける。
2017(平成29年)	2016京展を「美術館リ・ボーンに向けて『市展・京展80年記念展』」として開催し、市展・京展80年記念賞(コレクション賞)を設ける。

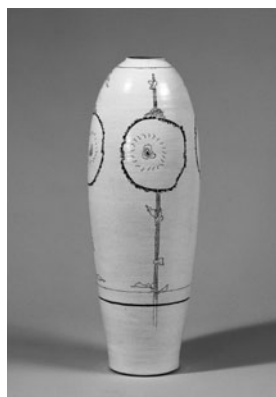
参考資料：市展・京展目録、『京都市美術館四十年史』(1974年)、『京都市美術館開館80周年記念展 市展・京展物語ーみんなここから羽ばたいたー』リーフレット(2013年)



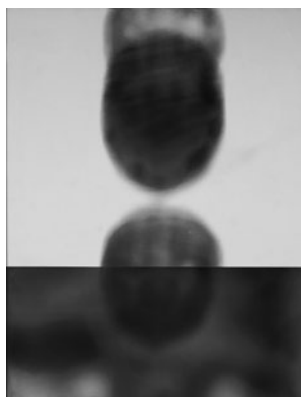
菊池契月 《小楠公弟兄》 第8回市展(1943)



松本為佐視 《変壺》 第6回京展(1954)



八木一夫 《金環蝕》 第4回京展(1948)



濱田弘明 《Untitled》 2002京展



林 孝二 《絡》 2000京展

京展

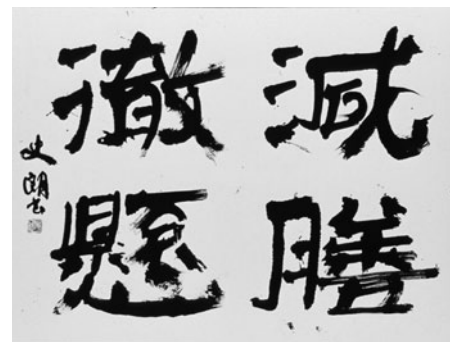
1945(昭和20)年11月から12月にかけて、時代の一新に伴い、出品資格を京都市在住者以外にも広げ、名称を「京展」(「京都市主催美術展覧会」の略称)と改め、その第1回展を開催しました。賞名も一新し、新たに市長賞を設け、報道各社の賞を設置しました。日本画部門の市長賞第一席を受賞した広田多津《母子》および第二席武藤彰《洛北の秋》は、二点とも買い上げられ、当館の所蔵品となっています。入場者は62,981人という盛況ぶりでした。翌年より駐留米軍により、美術館建物を接収されたため、京展は他の会場へと場所を移して開催せざるを得なくなりました。第2～4回展までは、恩賜京都博物館(現京都国立博物館)や丸物百貨店などに場所を移して開催したものの、1949(昭和24)年から1952(昭和27)年までは開催場所を確保するのも困難となり中断しました。1952年に接収が解除され、翌1953(昭和28)年に第5回展を開催し、書部門が新



武藤彰《洛北の秋》第1回京展(1945)

たに設けられました。第5回展では、入選作品510点に加え、京都芸苑の大家や中堅の賛助・依頼出品144点が出品されています。このいわゆる無鑑査作品は中堅以上の作家の出品を促す出品依頼制度として第50回まで継続されることで、京展の出品作の質の向上に貢献し、さらに鑑賞者にとっては京都の新進から大家までも一望できる総合展としての魅力を京展に与えたのです。同年、また翌年にかけて、紅賞、緑賞、紫賞の名称も復活し、各部門に新たな賞も増えて出品奨励の仕組みも整っていきました(資料2, 3参照)。

1974(昭和49)年には、洋画に含まれていた版画部門が独立し、全6部門となりました。1962(昭和37)年に洋画家・須田国太郎氏の遺族から送られた基金をもとに須田賞を設けられたことを嚆矢とし、1980年代には、中野賞(1981)、栖鳳賞(1985)、楠部賞(1986)、日比野賞(1986)、松田賞(1994)



中村史朗《減膳微懸》2006京展

など現在も継続している作家名の賞が次々と誕生します。

1998(平成10)年には、京展が50回を迎えたのを契機に、京展活性化のための改革を行い、翌年からは1999京展として新生をはかりました。出品依頼制度の廃止、審査員に美術評論家を加える、美術館が選考する賞として京都市美術館賞(コレクション賞)(資料4参照)を新設するなどの変革は、京展の新人育成の性格をさらに強め、その活躍の場を提供する展覧会として、新たな役割を担い始めています。

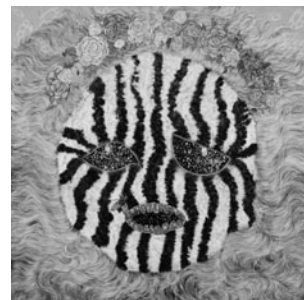
(当館学芸員/後藤結美子)

番号 No	作者 Artist	作品 Title	制作年 Date	形状・材質 Medium, description	サイズ Size	初出展 Exhibition	登録部門	収蔵年度
16	武藤彰 MUTO, Akira	洛北の秋 Autumn at Rakuho, Northern Kyoto	昭和20年 1945	紙本着色 額 Pigment on paper; framed	122.0 × 155.0 cm	第1回京展(市長賞第二席) 1st Kyoten (Awarded Second Mayor's Prize)	日	購-1945
17	幸田曉治 KODA, Gyoya	駱駝 Camels	昭和33年 1958	紙本着色 額 Pigment on paper; framed	149.0 × 168.3 cm	10th Kyoten (Awarded Mayor's Prize)	日	寄-2008
18	林孝二 HAYASHI, Koji	絡 Entanglement	平成12年 2000	紙本着色 Pigment on paper	259.0 × 162.0 cm	2000京展(京都市美術館賞) 2000 Kyoten (Awarded Kyoto Municipal Museum of Art Prize)	日	購-2000
19	津田周平 TSUDA, Shuhei	姉弟 Brother and Sister	昭和20年 1945	油彩 キャンバス 額 Oil on canvas; framed	145.5 × 75.3 cm	第1回京展(市長賞第二席) 1st Kyoten (Awarded Second Mayor's Prize)	洋	寄-1990
20	真野岩夫 MAENO, Iwao	御陵への道 Path to an Imperial Tomb	昭和31年 1956	油彩 キャンバス 額 Oil on canvas; framed	100.0 × 72.7 cm	第8回京展(中部日本新聞社賞) 8th Kyoten (Awarded Chunichi Newspaper Prize)	洋	寄-1992
21	福井勇 FUKUI, Isamu	静物 Still Life	昭和33年 1958	油彩 キャンバス 額 Oil on canvas; framed	75.0 × 62.0 cm	第10回京展(京都市賞上) 10th Kyoten	洋	購-1958
22	中川知美 NAKAGAWA, Tomomi	giggle giggle	平成18年 2006	ミクストメディア Mixed media	162.0 × 194.0 cm	2006京展(京都市美術館賞) 2006 Kyoten (Awarded Kyoto Municipal Museum of Art Prize)	洋	購-2006
23	HyonGyon HyonGyon	Will you marry me? Will you marry me?	平成25年 2013	アクリル 水彩 エナメル パニッシュ 和紙 パネル Acrylic, Watercolors, Enamel, Varnish, Washi Paper, Panel	200.0 × 200.0 × 3.5 cm	2013京展(京都市美術館賞) 2013 Kyoten (Awarded Kyoto Municipal Museum of Art Prize)	洋	購-2013
24	古野由男 FURUNO, Yoshio	Spaceに夢みる男 Man Dreaming about Space	昭和53年 1978	エンレーヴィング 紙 Engraving on paper	59.0 × 44.0 cm	第30回京展(第30回京展記念市長大賞) 30th Kyoten (Awarded Grand Mayor's Prize Commemorating 30th Kyoten)	版	寄-1981
25	西真 NISHI, Tadashi	Bucket Bucket	昭和54年 1979	木版 紙 Xylography on paper	45.7 × 71.7 cm	第31回京展(京展賞) 31st Kyoten (Awarded Kyoten Prize)	版	寄-1986
26	坂爪厚生 SAKAZUME, Atsuo	変貌する頭部 '82-V Metamorphosing Head '82-V	昭和57年 1982	メゾチント 紙 額 Mezzotint on paper; framed	64.5 × 49.3 cm	第34回京展(京展賞) 34th Kyoten (Awarded Kyoten Prize)	版	購-1997
27	濱田弘明 HAMADA, Hiroaki	Untitled	平成14年 2002	シルクスクリーン アクリル キャンバス 額 Silkscreen and acrylic on canvas; framed	145.0 × 112.0 cm	2002京展(京都市美術館賞) 2002 Kyoten (Awarded Kyoto Municipal Museum of Art Prize)	版	購-2002
28	横内朝 YOKOUCHI, Asa	Wedding dress VI Wedding dress VI	平成24年 2012	リトグラフ 紙 Lithograph on Paper	118.0 × 87.5 cm	2012京展(市長賞、京都市美術館賞) 2012 Kyoten (Mayor's Prize, Kyoto Municipal Museum of Art Prize)	版	購-2012
29	上田弘明 UEDA, Hiroaki	狗 Little Dog	昭和33年 1958	石 Stone	34.5 × 41.0 × 30.0 cm	第10回京展(京都市賞上) 10th Kyoten	彫	購-1958
30	白井千尋 SHIRAI, Chihiro	Daun air Daun air	平成14年 2002	木 Wood	20.0 × 200.0 × 200.0 cm	2002京展(京都市美術館賞) 2002 Kyoten (Awarded Kyoto Municipal Museum of Art Prize)	彫	購-2002
31	谷口幸環 TANIGUCHI, Komin	彫金初夏飾盆 Ornamental Plate: Early Summer	昭和20年 1945	彫金 銅 Wrought copper	高3.5, 直径30.5 cm H 3.5, Diam. 30.5 cm	第1回京展(中部日本新聞社賞) 1st Kyoten (Chubuninon Newspaper Prize)	工	購-1945
32	八木一夫 YAGI, Kazuo	金環蝕 Corona	昭和23年 1948	陶器 釉嵌 Earthenware with inlaid design	高48.5, 胴径17.0, 口径5.5 cm H 48.5, Diam. 17.0 cm	第4回京展(京展賞) 4th Kyoten (Awarded Kyoten Prize)	工	購-1948
33	松本為佐規 MATSUMOTO, Isami	変壺 Strange Pot	昭和29年 1954	陶器 Earthenware	36.0 × 34.0 × 21.0 cm	第6回京展(市長賞) 6th Kyoten (Awarded Mayor's Prize)	工	寄-2012
34	叶光夫 KANO, Mitsuo	懸紅方瓶 Square Vase	昭和37年 1962	陶器 Earthenware with scarlet glaze	高32.7, 胴径19.5, 口径11.8 cm H 32.7, Diam. 19.5 cm	第14回京展(京展賞) 14th Kyoten (Awarded Kyoten Prize)	工	寄-1988
35	宮崎芳郎 MIYAZAKI, Yoshiro	風景 Landscape	昭和39年 1964	蠟染染 絹地 屏風 二曲一隻 Wax-resist dyeing on silk fabric; two-fold screen	166.0 × 167.0 cm	第16回京展(市長賞) 16th Kyoten (Mayor's Prize)	工	寄-2010
36	下出祐太郎 SHIMODE, Yutaro	モニュメント Monument	昭和63年 1988	漆 木 屏風 二曲一隻 Lacquer on wood; two-fold screen	170.2 × 150.4 cm	第40回京展(第40回記念賞) 40th Kyoten (Awarded the Prize Commemorating 40th Kyoten)	工	寄-1988
37	竹村智之 TAKEMURA, Tomoyuki	五月のプリズム Prism of May	平成21年 2009	彩色磁器 Coloring on porcelain	38.0 × 42.0 × 45.0 cm	2009京展(京都市美術館賞) 2009 Kyoten (Kyoto Municipal Museum of Art Prize)	工	購-2009
38	岡本静庵 OKAMOTO, Seikyoan	漁父辞 The Fisherman's Lesson	昭和33年 1958	墨 紙 額 Sumi on paper; framed	256.0 × 128.0 cm	第10回京展(京都市賞上) 10th Kyoten	書	購-1958
39	中野越南 NAKANO, Etsunan	芳草 Fragrant Grass	昭和48年 1973	墨 紙 額 Sumi on paper; framed	134.0 × 34.0 cm	第25回京展(審査員出品) 25th Kyoten	書	寄-1973
40	中村史朗 NAKAMURA, Shiro	減膳微懸 In Troubled Times, Reduce Eating, Refrain from Music	平成18年 2006	墨 紙 額 Sumi on paper; framed	76.0 × 181.0 cm	2006京展(京展賞、京都市美術館賞) 2006 Kyoten (Awarded Kyoto Municipal Museum of Art Prize)	書	購-2006

資料4

京都市美術館賞 受賞者一覧(1999京展から新設されたコレクション賞)

日本画	1999 石股昭	2000 林孝二	2004 山本俊夫、新谷有紀	2006 宮原剛
洋画	2007 福田浩之	2013 村山春葉(80周年記念特別賞)		
	1999 中川佳宣	2001 渡辺信明	2003 伊庭広人	2005 田村研一、脇本慎也
	2006 中川知美	2012 唐人原希	2013 HyonGyon	
	2014 高木智子	2015 谷原菜摘子		
版画	2000 中村美知生	2001 大崎宣之	2002 濱田弘明	2005 勝島啓介
	2006 集治千晶	2008 今村綾	2009 岸雪絵	2011 河股由希
	2012 横内朝	2013 光崎ちひろ		
彫刻	2002 白井千尋	2005 三好晃		
工芸	2004 細田あずみ	2005 山田綾	2008 室田泉	2009 竹村智之
書	2010 MinMin	2013 徳力竜生		
	2006 中村史朗			



HyonGyon 《Will you marry me》2013京展

市展

「本市青年作家の奨励」を目的として開設された第1回目の「京都市美術展覧会」は、1935(昭和10)年5月20日から6月13日までの25日間、美術館全館を使用して開催されました。第一部日本画、第二部洋画、第三部彫塑、第四部美術工芸にわたる美術の総合展覧会として、出品範囲は京都市に關係のあるものに限るとし、展覧会の運営および鑑査・審査は、京都の美術界より選出された55名の展覧会委員によって行われました(資料1参照)。委員以外の応募作品はすべて鑑査を受ける形で、応募点数1,172点のうち790点が入選となり、そこに委員の出品作49点に加えられ、計839点が展示されました。授賞は三種設けられ、工芸作品が上位賞を独占しました。

最高賞の紫章(賞金300円)は、若き六代清水六兵衛(清水正太郎)の《果実文飾皿》が受賞、紅章(賞金200円)は染色の小友友之助《染額双馬図》と漆の堂本五三良《花器烏瓜図》の2名が受賞、緑章(賞金100円)は42名が受賞しました。また美術奨励の目的で特別の予算を設けて行われた作品買い上げは先の紫章、紅章受賞作品を含む18点にのぼりました。

出品の状況としては、日本画部門は全部門において入選数の最も多い450点となり、帝展において無鑑査の資格を得るような作家たち、池田遥邨、三輪晃勢、菊池隆志などが、進んで鑑査のある出品に応じ、力作を発表した点が注目されたようです。洋画も日本画に比べると少な

いもの入選数は213点に達し、伊谷賢蔵や須田国太郎など展覧会委員の作品に見どころがある一方、今井憲一、北脇昇、田邊雅章など若手の果敢な試みが注意をひいたようです。

展示作品の売約も、市展の重要な美術振興策の一つでした。第1回展の民間からの売約は18点を数え、京都市の買い上げを含むと計36点が売約され、好成績をあげたと伝えられています。また総入場者数は29,901人でした。その後も市展は、秋に開催する帝展・文展と並ぶ、当館の二大定例展覧会として、京都の美術振興に寄与し、市展出品作からの買い上げによりコレクションを充実させてきました。

番号 No	作者 Artist	作品 Title	制作年 Date	形状・材質 Medium, description	サイズ Size	初出展 Exhibition	登録部門	収蔵年度
1	池田遥邨 IKEDA, Yoson	雨の大阪 Osaka in the Rain	昭和10年 1935	絹本着色 額 Pigment on silk; framed	130.0 × 202.0 cm	第1回市展(京都市買上) 1st Shiten	日	購-1935
2	竹村竜太 TAKEMURA, Ryuta	風景 Landscape	昭和10年 1935	紙本着色 額 Pigment on paper; framed	69.0 × 93.0 cm	第1回市展(緑章受賞、京都市買上) 1st Shiten (Awarded Midori Prize)	日	購-1935
3	菊池契月 KIKUCHI, Keigetsu	小楠公弟兄 The Kusunoki Brothers	昭和18年 1943	紙本着色 額 Pigment on paper; framed	172.0 × 113.0 cm	第8回市展(審査員出品) 8th Shiten	日	寄-1961
4	田代正子 TASHIRO, Masako	戦捷便り News of Victory	昭和18年 1943	紙本着色 額 Pigment on paper; framed	153.0 × 200.5 cm	第8回市展 8th Shiten	日	寄-2010
5	伊庭伝治郎 IBA, Denjiro	五月の谷 Valley in May	昭和10年 1935	油彩 キャンバス 額 Oil on canvas; framed	72.0 × 99.0 cm	第1回市展(展覧会委員、京都市買上) 1st Shiten	洋	購-1935
6	北脇昇 KITAWAKI, Noboru	章表 Symbol	昭和12年 1937	油彩 キャンバス 額 Oil on canvas; framed	89.0 × 63.0 cm	第2回市展 2nd Shiten	洋	寄-1960
7	須田国太郎 SUDA, Kunitaro	村 Village	昭和12年 1937	油彩 キャンバス 額 Oil on canvas; framed	94.0 × 128.0 cm	第2回市展(審査員出品) 2nd Shiten	洋	購-1937
8	服部喜三 HATTORI, Kizo	燈火管制 Wartime Blackout	昭和18年 1943	油彩 キャンバス 額 Oil on canvas; framed	116.4 × 80.0 cm	第8回市展 8th Shiten	洋	購-2001
9	中村三郎 NAKAMURA, Saburo	布をもつ女 Woman with a Cloth	昭和10年 1935	石膏 Plaster	115.0 × 33.0 × 22.0 cm	第1回市展(緑章受賞、京都市買上) 1st Shiten (Awarded Midori Prize)	彫	購-1935
10	岡本庄三 OKAMOTO, Shozo	女 Woman	昭和13年 1938	石膏 Plaster	54.0 × 38.0 × 40.0 cm	第3回市展 3rd Shiten	彫	寄-1938
11	横江嘉純 YOKOE, Yoshizumi	想い Pondering	昭和15年 1940	大理石 Marble	39.0 × 32.0 × 22.5 cm	第5回市展(招待) 5th Shiten	彫	購-1940
12	小友友之助 OGO, Tomonosuke	染額雙馬図 Two Horses	昭和10年 1935	蠟燭 緇地 額 Wax resist dyeing on silk; framed	162.0 × 72.0 cm	第1回市展(紅章受賞、京都市買上) 1st Shiten (Awarded Kurenai Prize)	工	購-1935
13	(初代)宮永東山(印錦光山) MIYANAGA, Tozan I	青瓷葡萄象嵌文花瓶 Vase with inlaid design of grapes	昭和10年 1935	磁器 Porcelain with celadon glaze	高39.0, 胴径25.5, 口径12.0 cm H 39.0, Diam. 25.5 cm	第1回市展(京都市買上) 1st Shiten	工	購-1935
14	大西浄長 ONISHI, Jocho	富士釜 Kettle in the shape of Mt. Fuji	昭和12年 1937	鑄金 鉄 Cast iron	高24.0, 胴径25.0, 口径11.0 cm H 24.0, Diam. 25.0 cm	第2回市展(審査員出品) 2nd Shiten	工	寄-1937
15	(四代)清風与平 SEIFU, Yohei IV	黄珍瓷靈芝紋花瓶 Vase with relief pattern	昭和16年 1941	磁器 Porcelain with Koteiki light yellow glaze	高25.0, 胴径27.0, 口径13.0 cm H 25.0, Diam. 27.0 cm	第6回市展(審査員出品) 6th Shiten	工	購-1941

資料1

京都市美術展覧会委員一覧(○印は審査委員)

第一部(日本画)

石崎光瑤 入江波光 橋本閑雪 ○西山翠嶂 ○西村五雲 堀井香坡 ○富田溪仙 登内微笑
小野竹喬 ○川村曼舟 川北霞峰 金鳥桂華 ○竹内栖鳳 ○堂本印象 ○土田麦僊
○中村大三郎 ○宇田荻郎 上村松園 寮本一洋 ○福田平八郎 福田恵一 近藤浩一路
小村大雲 木島桜谷 榊原紫峰 ○菊池契月 ○水田竹圃

第二部(洋画)

伊谷賢蔵 伊庭伝治郎 池田治三郎 都鳥英喜 ○太田喜二郎 ○大橋孝吉 ○鹿子木孟郎
河合新蔵 川端弥之助 ○田中善之助 ○黒田重太郎 国盛義篤 寺松国太郎 霜島正三郎
森脇忠 ○須田国太郎

第三部(彫塑)

○石本暁曠 ○国安稲香 ○松田尚之

第四部(美術工芸)

○伊東陶山 ○戸島光学 ○河村蜻山 河井寛次郎 ○山鹿清華 ○江馬長閑 ○澤田宗山
○清水六兵衛 宮永東山

(1935(昭和10)年時点)



服部喜三 《燈火管制》 第8回市展(1943)



中村三郎 《布をもつ女》 第1回市展(1935)

資料2

授賞作品の決定について

京展賞 各部について審査委員会が依頼作品から三点を候補として推薦し、美術館評議員会がこの中から一点を選出、決定する。
市長賞 各部について審査委員会が応募作品(無鑑査作品をもふくむ)から選出、決定する。
須田賞 各部について審査委員会が、審査員作品をのぞく全作品の中から一点を推薦し、美術館評議員会が審査、決定する。なお、須田賞は2部(洋画・版画)に一本、さらに他部門についても一本授賞されることになっているが、この他部門については毎回各部持ち廻りとし、本年は1部(日本画)に割り当てられた。

上の賞以外はすべて、応募作品(無鑑査をもふくむ)中より審査委員会が授賞を決定する。

市長賞、紫賞、緑賞に順位はありません。

(註)第23回展(1971年)以降は、授賞作品の選出に評議員会が関わることがなくなり、審査委員会が独自に選出・決定することになった。

『第18回京展』目録(1966年)より

資料3

授賞について

京展賞 各部について審査委員会が依頼作品から一点を決定する。
栖鳳賞 日本画の部について審査委員会が、美術館評議員、審査員の作品をのぞく全作品の中から一点を決定する。
須田賞 洋画、版画の部について各部審査委員会が、美術館評議員、審査員の作品をのぞく全作品の中から各一点を決定する。
楠部賞 工芸の部について審査委員会が、美術館評議員、審査員の作品をのぞく全作品の中から一点を決定する。
中野賞 書の部について審査委員会が、美術館評議員、審査員の作品をのぞく全作品の中から各一点を決定する。
日比野賞
松田賞 彫刻の部について審査委員会が、美術館評議員、審査員の作品をのぞく全作品の中から一点を決定する。
市長賞 各部について審査委員会が応募作品(無鑑査作品をもふくむ)から選出、決定する。
報道関係の賞及び京都市芸術文化協会賞、紅賞、紫賞、あかね賞、緑賞等は応募作品(無鑑査をもふくむ)より審査委員会が授賞を決定する。

『第46回京展』目録(1994年)より